



すわっ子だより

成 長

校長 川添 倫義

今年度も登校時に正門前で保護者や地域の方々と共に子どもたちへの「あいさつ」をしています。私は、ハンドパペットと一緒にあいさつやハイタッチを交わし、子どもたちの声や笑顔に元気をもらっています。

5月5日は「こどもの日」です。もともとは、「端午の節句」にあたり、「菖蒲（しょうぶ）の節句」とも言われます。強い香気で厄を祓う菖蒲や蓬（よもぎ）を軒先につるしたり、菖蒲湯に入ったりすることで無病息災を願ったそうです。また、「菖蒲」と「尚武」をかけて、勇ましい飾りをして子どもの成長を願ってお祝いしたそうです。「こいのぼり」には、登竜門（登竜と呼ばれる激流）を鯉が登ったという中国の伝説を受け、健やかな子どもの成長を願う親の気持ちが託されているそうです。本校の中庭では、大きなこいのぼりが5月のさわやかな風にはためき、気持ちよさそうに泳いでいます。その下の中庭で虫を取ったり、池のメダカを眺めたりする子どもたちの姿が見られます。今年は、保護者の方のご厚意で、昇降口にもこいのぼりを飾っています。

さて、本校には、「すわっ子10の約束」があり、集団生活のめあてとして

- 1 にこにこ元気にあいさつします
- 2 はっきりと返事をし、正しい言葉で話します
- 3 友達の名前には、「～さん」を付けます
- 4 時間を守り、きびきびとした行動をします
- 5 掃除は、しゃべらずもくもくとします
- 6 授業中はしせいをよくします
- 7 靴はきちんとかかとをそろえます
- 8 廊下や階段は静かに歩きます
- 9 進んで整理整頓・ごみ拾いをします
- 10 先生の話には集中します

子どもたちにとっては「学校教育目標」や「心を潤す4つの言葉」とともに馴染んだものですが、今年度は、自律した集団生活の力を伸ばすために、その約束がなぜあるのか、なぜ大切なのかを考える機会をもてるようにと教職員から問いかけたり環境を作ったりするようにしています。

5月10日～16日は、「愛鳥週間」です。野鳥が人間の生活に大きな役割を果たしてくれていることに感謝をして鳥を大切にしようという、アメリカの運動が始まりだそうです。15年ほど前に私の自宅にある月桂樹に巣箱を設置しました。毎年のようにシジュウカラがやってきて、ひなが育ち、巣立っていきます。今年も楽しみにしています。